



県議会

とちぎ自民党議員会報 vol.6

私たち「とちぎ自民党議員会」は、31議席を有する県議会最大会派です。私たちは今年度当初予算においては136項目、9月補正予算においては44項目に及ぶ予算・政策要望書を作成し、知事執行部に提出しています。県内各地域にいる同志が地域の課題をしっかりと把握しながら、積極的な政策立案・政策提言を行っています。今回は、私たちの「実行力」が結実した重要事業の一部を報告いたします。

自然災害への「備え」を確かなものにします

近年、記録的な集中豪雨や異常気象が頻発しており、まさに災害がいつどこで起きても不思議ではない状況にあります。

去る7月には、民間の気象情報会社より、「本県のゲリラ豪雨発生予想回数は全国3位」と発表されました。県民の生命・財産を守り、安全・安心な暮らしを確保していくために、**災害に強い県土づくり**をさらに推進していく必要があります。

特に河川については、その改修を着実に推進するとともに、**流域全体での治水対策に取り組む**ことが求められます。具体的には、**流下能力を確保するための河川の堆積土除去や、上流域への調整池の整備、揚水ポンプの配備等、効果的な対策を講じていかなければなりません。**

そこで、我が会派では、計画的に社会資本整備を推進できるように、当初予算において必要な公共事業予算の編成に努めた結果、**前年度比29%増の公共事業費**(県単公共事業費+公共事業関連調査費+緊急防災・減災対策事業費=約140億円[うち自民党上乗せ34億円])を確保しました。

今後とも限られた財源を有効に活用しながら、安全・安心で活力ある県土づくりに取り組んでいきます。



■一級河川 五行川 (高根沢町 上高根沢)

冬山での迅速な捜索や救助活動を行うための資機材を整備します

那須町における雪崩事故から半年が経過しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族の皆様へ心からお悔やみ申し上げます。

今回の事故の教訓として、冬山で遭難事故が発生した際に、**遭難者の迅速な捜索や救助活動が実施できる資機材を早急に整備**しておく必要があります。

そこで、我が会派では、現場活動に万全を期すため、不足している資機材=**ドローン(無人航空機)、ビーコン等を必要とする警察署等に整備**すること、且つこの冬に間に合うよう早急に整備することを要望した結果、今9月定例議会にて補正予算を組み、整備することになりました。

今後とも現場主義をモットーに、迅速な対応をとることができますよう、努めてまいります。



■画像提供 (株)NSI真岡

私たちは、「実行力」。

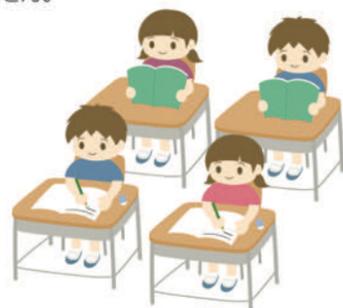
小学校第3学年で「35人学級」がスタートしました

変化の激しい社会情勢の中にあって、とちぎの将来を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、自らの目標を掲げ、それを実現する力を養い、たくましく成長していく環境を作り上げていくことが今強く求められています。

教育分野においては、学力向上への取り組みや社会教育の充実、また、いじめ・不登校や子どもの貧困対策等、取り組むべき諸課題が山積していますが、子どもたちの健やかな成長のためには、何より**子どもたち一人ひとりに目が行き届いた指導ができる教育環境**を作っていかなければなりません。

そこで、我が会派では、より質の高い教育の実現ときめ細かな指導のため、**小学校3年生について「35人学級」の実施**を要望し、今年度から実現することができました。

今後は、35人学級の小学校4年生以降への拡充や、加配教員を確保し1つのクラスを複数の教員で見守る仕組みの推進等、**本県独自の「少数教育」**を推進していきます。



結婚サポート事業を拡大します

栃木県もいよいよ人口減少時代に突入しました。本県の将来活力を維持していくため、少子化対策は喫緊の重要課題であると認識しています。

県では、「結婚を希望する人が安心して気軽に結婚相談ができる公設の相談・支援窓口が必要である」との県議会からの提言を受け、**本年1月に「とちぎ結婚支援センター」**を宇都宮市に開設しました。

今年8月末時点で、マッチング会員数1,366名、引き合わせ実績324組、そのうち155組が交際に発展し、成婚したカップルも誕生するなど、当センターは着実に成果を挙げています。

我が会派では、この**結婚支援システムを県内全域へと拡大**していくことを強く要望した結果、**小山市・那須塩原市と協力しサテライトオフィス**を開設することになりました。

栃木県で「出会い、結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶える」という大きな目標の実現に向けて、全力で活動してまいります。



「栃木県県産木材利用促進条例」を制定しました

県土の55%を占める森林は、県土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材をはじめとする林産物の供給等の多面的機能を有しており、本県経済にとっても重要な役割を果たしています。

しかし、木材利用の低迷等を背景に、戦後植林された県内のスギ・ヒノキ等の人工林の多くが成熟期を迎えているものの建築材等に十分に利用されていない状況にあります。

そのため、我が会派では、これらの森林資源を積極的に活用し「植えて、育てて、伐って、使って、植える」という森林資源の循環的な利用を促進することで、**林業及び木材産業の成長産業化と木材需要の増進を図り、百年後の森林を見据えた施策展開が必要**であると、繰り返し主張し、これまでに「とちぎ材の家づくり支援事業」を実施するなど、積極的に取り組んできました。

そしてこの度、我が会派が中心となり、**県を挙げて県産木材の積極的な利用＝「木づかい」を進めることを目的にした「議員提案による条例」**を制定しました。(詳しくは栃木県HPをご覧ください) 県民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



■鹿沼市栗野小学校屋内運動場

■茂木町ふみの森もてぎ図書館

栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

とちぎ自民党議員会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22 (自民党栃木県連) TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 (とちぎ自民党議員会) TEL.028-623-3708 FAX.028-623-3725

●とちぎ自民党ホームページ▶▶ とちぎ自民党

検索

本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から忌憚のない声をお寄せいただきまますよう、お願い申し上げます。